

# リスクモンスター株式会社

(東証スタンダード: 3768)

## 2023年3月期 決算補足資料



2023年5月12日

1. 2023年3月期 重点施策・取り組み (P.2)	15. リスクモンスタースタックのビジネスモデル (P.21)
2. 決算サマリー (P.3)	16. DX(デジタルトランスフォーメーション)への取り組み (P.22)
3. 業績推移(四半期) (P.4)	17. 自己株式の取得 (P.23)
4. ビジネス分類別 業績 (P.5)	18. 当社のセキュリティ対策 (P.24)
(1) 法人会員向けビジネス 業績 (P.6)	19. 株主のための施策 ① (P.25)
(1) 法人会員向けビジネス ①与信管理サービス 業績 (P.7)	20. 株主のための施策 ② (P.26)
(1) 法人会員向けビジネス ②ビジネスポータルサイト 業績 (P.8)	21. 株主のための施策 ③ (P.27)
(1) 法人会員向けビジネス ③教育関連 業績 (P.9)	IRに関するお問合せ (P.28)
(2) その他ビジネス ④BPOサービスを含むその他ビジネス 業績 (P.10)	TOPICS
5. 会員数推移(四半期) (P.11)	伊藤忠グループのGardiaと提携し債権保証サービスを拡大 (P.30)
6. 連結貸借対照表 (P.12)	リスモンAPIサービス「反社APIサービス」のご紹介 (P.31)
7. 連結キャッシュ・フロー (P.13)	インボイス制度に対するサービス、取り組みのご紹介 (P.32)
8. 2024年3月期 業績予想 (P.14)	J-MOTTO 「Microsoft Teams」と連携 (P.33)
9. 今後の見通し (P.15)	利墨(上海)商務信息咨询有限公司 設立10周年 (P.34)
10. RM財務格付による財務分析 ① (P.16)	書籍のご紹介 (P.35)
11. RM財務格付による財務分析 ② (P.17)	リスモンAPIサービス「ActRecipe」と連携を開始 (P.36)
12. 企業理念と長期ビジョン (P.18)	「登記情報アラーム」のご紹介 (P.37)
13. 『第7次中期経営計画(2021～2023年度)』全体的な基本方針 (P.19)	「反社チェックヒートマップ」の単独提供を開始 (P.38)
14. 『第7次中期経営計画(2021～2023年度)』事業別の基本方針 (P.20)	J-MOTTO 「プレゼンス機能」のご紹介 (P.39)

## 1Q

## 2Q

## 3Q

## 4Q

リリース

- ▶ 中国でも日本企業の「RM格付」の活用ができる新サービス「日本企業情報RMナビ」提供開始(4月)
- ▶ 与信先モニタリングサービス「リスクモンスター見舞金」の見舞金金額を2倍へ引き上げ、また対象のRM格付を拡大(4月)
- ▶ 「取引先リスク管理Q&A(第2版)」出版(5月)
- ▶ 「業種別審査ノートVol. 1(第3編)」出版(5月)
- ▶ リスモンAPIサービス「反社APIサービス」提供開始(6月)
- ▶ システム構築・運用管理、ブロックチェーン関連技術サービスを提供するアイクラフト株式会社への資本参加(6月)
- ▶ 「J-MOTTO(ジェイモット)」サービスが「IT導入補助金2022」に認定(6月)
- ▶ eラーニング 提供開始したシリーズ、コース
  - ・「仕事の課題解決のために「情報収集と情報整理」「受け手の納得度を高める「SDS法・PREP法」」等6コース
  - ・「基礎から学ぶインサイダー取引」「基礎から学ぶ下請法」

- ▶ 情報セキュリティ、コンプライアンス、ハラスメントに関するeラーニングの英語版・中国版を提供開始(9月)
- ▶ クラウドサービスセキュリティ国際規格「ISO/IEC 27017:2015」認証取得(9月)
- ▶ 利墨(上海)商務信息咨询有限公司(リスクモンスタージャイナ)、設立10周年(9月)
- ▶ 「J-MOTTO(ジェイモット)」グループウェアのスケジュールと「Microsoft Teams」のカレンダー連携機能を提供開始(9月)
- ▶ eラーニング 提供開始したシリーズ、コース
  - ・「基礎から学ぶ反社取引管理(基礎編)」
  - ・「最近の若者の動向と新入社員との向き合い方講座」「ことづくり・ものづくり」等7コース
  - ・「基礎から学ぶ反社取引管理(実務編)」、「基礎から学ぶ反社取引管理(総合版)」
  - ・「ライフシフト講座」、「統計とデータ分析キホンのキ」等29コース
  - ・「社会人なら知っておきたい著作権講座」
  - ・「基礎から学ぶクライスマネジメント」、「基礎から学ぶリスクマネジメント」

- ▶ 与信管理APIサービス、SaaS連携業務自動化プラットフォーム「ActRecipe」と連携開始 ~与信チェックや新規取引申請業務のDX化を支援~(10月)
- ▶ 利墨(上海)商務信息咨询有限公司(リスクモンスタージャイナ)新サービス「変動通知オプション」提供開始(11月)
- ▶ 格付ロジック改定(12月)
- ▶ 自己株式取得を決議(12月)
- ▶ eラーニング 提供開始したシリーズ、コース
  - ・「DXファーストステップ~踏み出すための変革のポイントとテクノロジー概要~」等23コース
  - ・「体系で学ぶ与信管理」シリーズに「ビジネス実務与信管理検定試験2級合格対策特別講座」追加、シリーズ全9講座リニューアル
  - ・「サステナブル経営のためのSDGs講座」
  - ・「はじめてのプロジェクトマネジメント」
  - ・「コンピュータ基礎」、「Webアプリ基礎」等6コース
  - ・「デジタル・広報等の第一線で活躍する講師が教える講座等102コース

- ▶ 金融機関・上場会社ニーズに対応し、「登記情報アラーム」提供開始(1月)
- ▶ 「反社チェックヒートマップ」単独提供開始(1月)
- ▶ 「業種別審査ノートVol. 2(第3編)」を出版(1月)
- ▶ 利墨(上海)商務信息咨询有限公司(リスクモンスタージャイナ)、「業種別審査ノート 中国・2022年版」出版(2月)
- ▶ スマートフォンアプリ「J-MOTTO(ジェイモット)」グループウェアバージョンアップ(2月)
- ▶ 「J-MOTTO(ジェイモット)」グループウェアバージョンアップ、「プレゼンス機能」追加(3月)
- ▶ eラーニング 提供開始したシリーズ、コース
  - ・「Webセミナーオンデマンド配信」等38コース
  - ・「Java基礎」、「SQL基礎」等10コース
  - ・経営課題解決に役立つコンテンツ158コース
  - ・「障害者雇用初級研修」3コース
  - ・「はじめての簿記~仕訳から決算までの流れを学ぶ~」
  - ・「事例で学ぶ独占禁止法~コンプライアンス遵守のために~」

リスモン調べ

- 調査結果・与信コラム 発表**
- ▶ 「離婚したくなる夫・妻の仕事」(4月)
  - ▶ 「お子さん／お孫さんに勤めてほしい企業」(5月)
  - ▶ 「この企業に勤める人と結婚したいランキング」(6月)
  - ▶ 「隣の芝生(企業)は青い」(6月)
  - ▶ 「20年ぶりの円安進行に関する影響」(6月)
  - ▶ 「週休3日制に関する意識」(6月)
- リスモン調べ動画**
- ▶ 「離婚したくなる夫・妻の仕事調査」(4月)
  - ▶ 「お子さん／お孫さんに勤めてほしい企業ランキング」(5月)
  - ▶ 「週休3日制に関する意識調査」(6月)

- 調査結果・与信コラム 発表**
- ▶ 「アフターコロナの働き方」(7月)
  - ▶ 「DX認定企業」(7月)
  - ▶ 「FIREへの憧れ」(8月)
  - ▶ 「金持ち企業ランキング」(8月)
- リスモン調べ動画**
- ▶ 「隣の芝生(企業)は青い調査」(7月)
  - ▶ 「FIREへの憧れ調査」(8月)
  - ▶ 「この企業に勤める人と結婚したいランキング」(9月)

- 調査結果・与信コラム 発表**
- ▶ 「大学1、2年生が就職したいと思う企業・業種ランキング」(10月)
  - ▶ 「借金王ランキング」(10月)
  - ▶ 「コミュニケーション不足に関する影響」(11月)
  - ▶ 「尊敬できる上司に関する意識」(12月)
  - ▶ 「企業の取引リスクに対する意識」(12月)
- リスモン調べ動画**
- ▶ 「大学1、2年生が就職したいと思う企業・業種ランキング」(10月)
  - ▶ 「コミュニケーション不足に関する影響調査」(11月)
  - ▶ 「尊敬できる上司に関する意識調査」(12月)

- 調査結果・与信コラム 発表**
- ▶ 「格付ロジック改定によるRM格付変動の影響」(1月)
  - ▶ 「債権・不動産譲渡登記分析」(2月)
  - ▶ 「若手社員の仕事・会社に対する満足度」(2月)
  - ▶ 「ビジネススキルアップに関する意識」(2月)
  - ▶ 「オンライン社内会議における内職の実態」(3月)
  - ▶ 「新型コロナウイルス5類移行に伴う影響」(3月)
- リスモン調べ動画**
- ▶ 「若手社員の仕事・会社に対する満足度」(2月)
  - ▶ 「ビジネススキルアップに関する意識調査」(2月)
  - ▶ 「オンライン社内会議における内職の実態調査」(3月)

業界レポート

- ▶ 「業務用機械器具製造業」(4月)
- ▶ 「不動産賃貸・管理業」(5月)
- ▶ 「医療業」(6月)

- ▶ 「非鉄金属製造業」(7月)
- ▶ 「情報サービス業」(8月)
- ▶ 「化学工業」(9月)

- ▶ 「石油製品・石炭製品製造業」(10月)
- ▶ 「パルプ・紙・紙加工品製造業」(11月)
- ▶ 「映像・音声・文字情報制作業」(12月)

- ▶ 「道路貨物運送業」(1月)
- ▶ 「鉄鋼業」(2月)
- ▶ 「金属製品製造業」(3月)

## DX(デジタルトランスフォーメーション)への取組

## 具体的なクライアントへのDX化支援サービス

中計

- ▶ 「AI等を活用し、自社保有データの分析推進によるサービス開発と業務効率化」
- ▶ 「クライアントへのDX化支援サービスの展開」
- ▶ 「デジタルプラットフォーム活用による業務効率化とテレワーク推進」

- ▶ リスモンAPIサービス「反社APIサービス」(6月)
- ▶ リスモンAPIサービスがSaaS連携業務自動化プラットフォーム「ActRecipe」と連携開始(10月)

	2022年3月期	2023年3月期	増 減	前期比
売上高	3,745,660 千円	3,744,813 千円	△847 千円	100.0 %
営業利益	669,661 千円	565,083 千円	△104,577 千円	84.4 %
経常利益	693,284 千円	552,548 千円	△140,735 千円	79.7 %
親会社株主に帰属する 当期純利益	459,076 千円	360,374 千円	△98,701 千円	78.5 %
1株当たり当期純利益(EPS)	61.32 円	47.60 円	△13.72 円	77.6 %
会員数(注)	14,103 ID	13,822 ID	△281 ID	98.0 %
自己資本当期純利益率(ROE)	8.2 %	6.2 %	△2.0 ポイント	—

(注) 各サービスに重複登録している会員を含む

### ◆ 売上高

与信管理サービス事業及び教育関連事業が売上を押し下げたものの、BPOサービス事業、その他サービスが好調であったこと等から、連結の売上高は前期並みとなりました。

### ◆ 利益

サービスシステム増強やセキュリティ強化のための投資を実施したことや、サービス提供強化のための人件費及びマーケティング費等の増加、与信管理サービス事業及び教育関連事業の売上高減少等により、前期を下回りました。

### ◆ 会員数

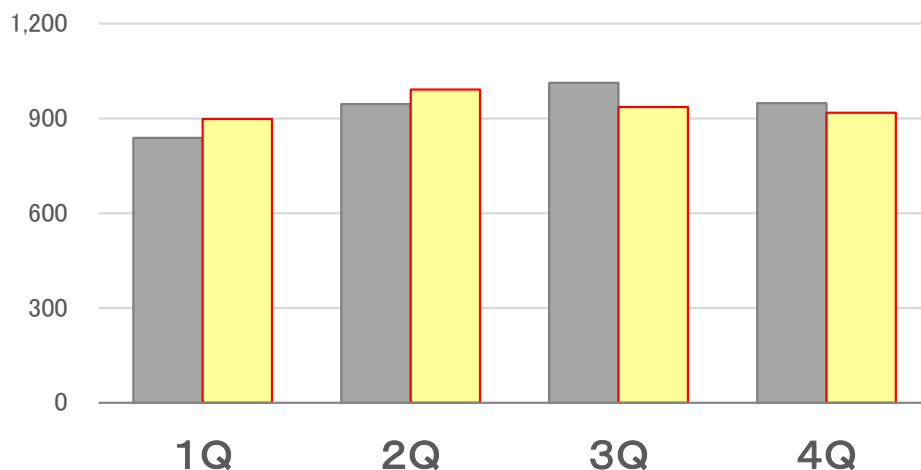
会員数につきましては、与信管理サービス事業は増加したものの、ビジネスポータルサイト事業では微減となり、また、教育関連事業は代理店のサービス提供終了による影響などから減少したため、全体では前連結会計年度と比べ281ID減少し、13,822会員となりました。

(単位：千円)

2023年3月期	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	898,424	991,648	936,530	918,209
営業利益	131,133	190,442	132,606	110,901
2022年3月期	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	838,697	945,446	1,013,072	948,444
営業利益	135,034	218,639	201,710	114,277

## 売上高

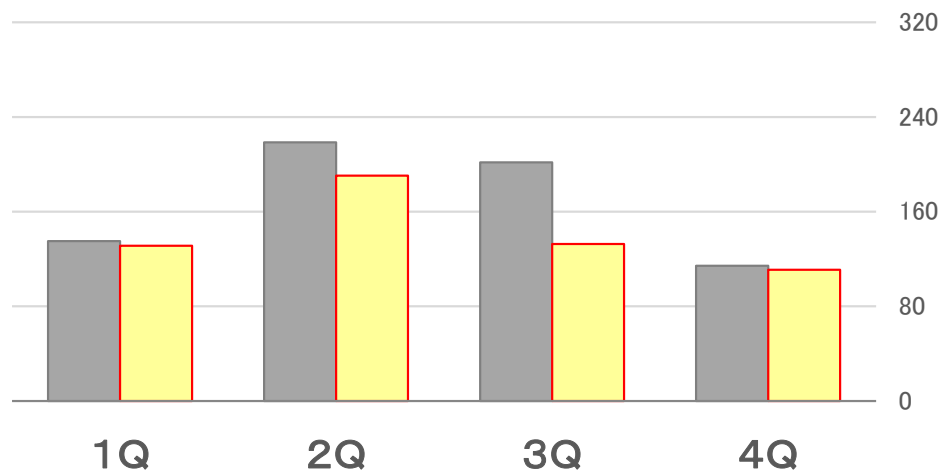
(単位：百万円)



■ 2022年3月期 ■ 2023年3月期

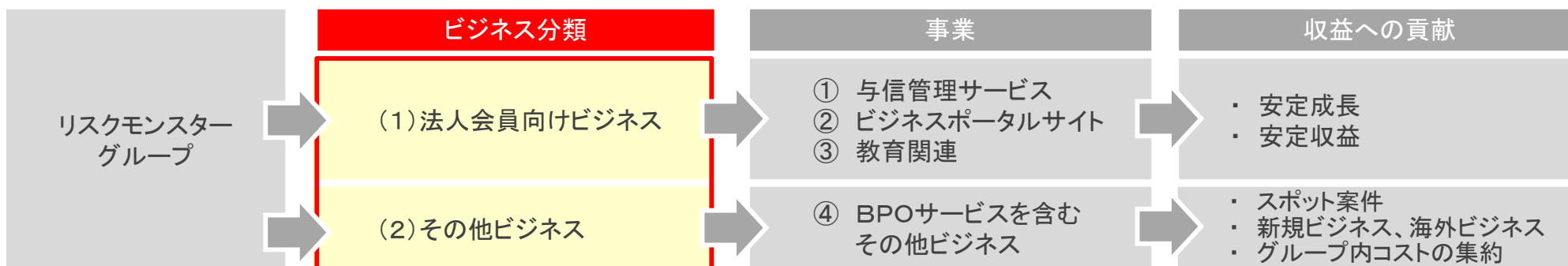
## 営業利益

(単位：百万円)



■ 2022年3月期 ■ 2023年3月期

## リスクモンスターグループ ビジネスモデル



(単位：千円)

	2022年3月期	2023年3月期	増減額	前期比
(1) 法人会員向けビジネス	3,153,297	2,958,208	△195,088	93.8%
(2) その他ビジネス	866,880	1,199,285	332,405	138.3%
売上高 計	4,020,177	4,157,493	137,316	103.4%
(1) 法人会員向けビジネス	731,287	667,624	△63,663	91.3%
(2) その他ビジネス	61,730	64,114	2,383	103.9%
利益 計	793,018	731,738	△61,279	92.3%

(注) セグメント別の売上高はサービス間取引消去前の売上高で記載

## リスクモンスターグループ ビジネスモデル



(単位：千円)

	2022年3月期	2023年3月期	増減額	前期比
①与信管理サービス	2,291,729	2,102,864	△188,865	91.8%
②ビジネスポータルサイト	607,673	614,901	7,228	101.2%
③教育関連	253,893	240,442	△13,451	94.7%
<b>法人会員向けビジネス売上高計</b>	<b>3,153,297</b>	<b>2,958,208</b>	<b>△195,088</b>	<b>93.8%</b>
①与信管理サービス	427,807	381,364	△46,442	89.1%
②ビジネスポータルサイト	239,743	241,298	1,555	100.6%
③教育関連	63,736	44,960	△18,776	70.5%
<b>法人会員向けビジネス利益計</b>	<b>731,287</b>	<b>667,624</b>	<b>△63,663</b>	<b>91.3%</b>

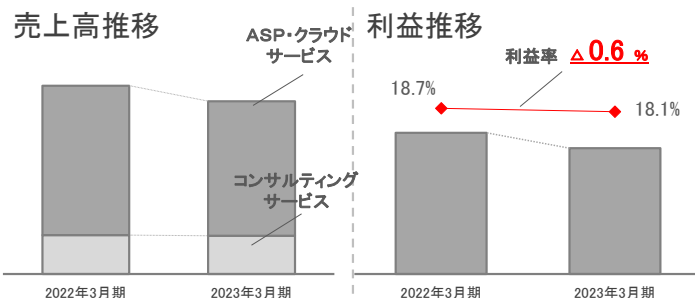
<b>会員数 (ID)</b>	13,669	13,377	△292	97.9%
-----------------	--------	--------	------	-------

(単位 : 千円)

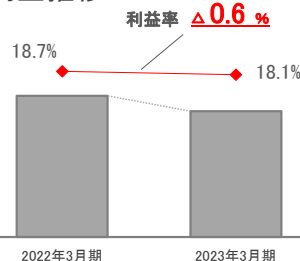
	2022年3月期	2023年3月期	増減額	前期比
ASP・クラウドサービス	1,818,118	1,637,183	△180,934	90.0%
コンサルティングサービス	473,611	465,681	△7,930	98.3%
<b>売上高 計</b>	<b>2,291,729</b>	<b>2,102,864</b>	<b>△188,865</b>	<b>91.8%</b>
<b>利益</b>	<b>427,807</b>	<b>381,364</b>	<b>△46,442</b>	<b>89.1%</b>
<b>利益率</b>	<b>18.7%</b>	<b>18.1%</b>	<b>△0.6 ポイント</b>	<b>—</b>
<b>会員数 (ID) (注)</b>	<b>7,199</b>	<b>7,240</b>	<b>41</b>	<b>100.6%</b>

(注) サービス相互連携を行う提携会員を含む

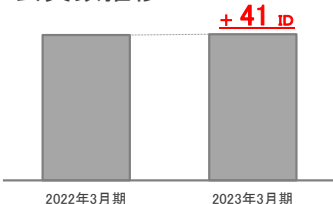
### 売上高推移



### 利益推移



### 会員数推移



### ◆ 売上高

ASP・クラウドサービスは、入会数は予定通り増加したものの、前期に比べ退会数が増加したこと、一部のサービスが終了になったこと、また、サービスリニューアルに伴うキャンペーンによる割引提供を実施したため、退会会員分の売上高を補うまでには至らず、前期を下回りました。

コンサルティングサービスは、反社チェックを活用したサービス、BPOを活用したサービスが順調だったものの、サブスク契約への移行によりASP・クラウドサービスの利用に移行したこと、前期はスポットのモニタリングサービス等の受注があったため、前期を下回りました。

### ◆ 利益

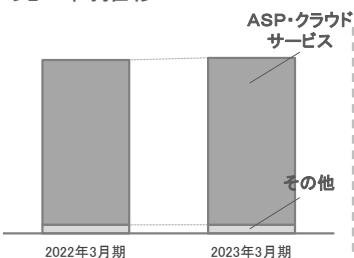
独自データベースを主としたサービス移行に伴い企業情報取得に係る原価は減少しましたが、新たな挑戦ができる事業環境となったため、サービスリニューアルや独自データベース拡充・増強への投資、また、セキュリティ強化のための投資を実施したこと、マーケティング費等コストが増加したことに加え、売上高の減少もあり、前期を下回りました。



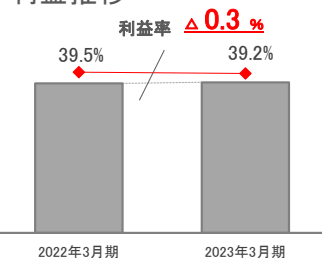
(単位 : 千円)

	2022年3月期	2023年3月期	増減額	前期比
ASP・クラウドサービス	573,043	579,836	6,792	101.2%
その他	34,629	35,065	435	101.3%
<b>売上高 計</b>	<b>607,673</b>	<b>614,901</b>	<b>7,228</b>	<b>101.2%</b>
<b>利益</b>	<b>239,743</b>	<b>241,298</b>	<b>1,555</b>	<b>100.6%</b>
<b>利益率</b>	<b>39.5%</b>	<b>39.2%</b>	<b>△0.3 ポイント</b>	<b>—</b>
<b>会員数 (ID)</b>	<b>3,154</b>	<b>3,115</b>	<b>△39</b>	<b>98.8%</b>
<b>ユーザー数</b>	<b>147,364</b>	<b>145,315</b>	<b>△2,049</b>	<b>98.6%</b>

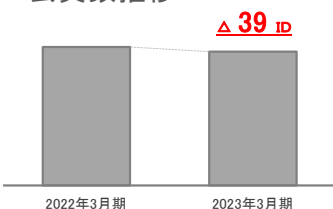
売上高推移



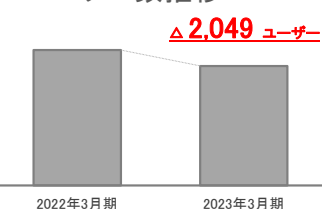
利益推移



会員数推移



ユーザー数推移



◆ 売上高

大容量プランへ移行した会員の利用料が積み上がったものの、ユーザー数の減少に伴う超過料の減少により、売上高はほぼ前期並みとなりました。

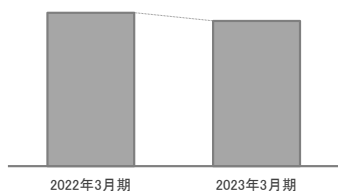
◆ 利益

利益につきましても、ほぼ前期並みとなりました。

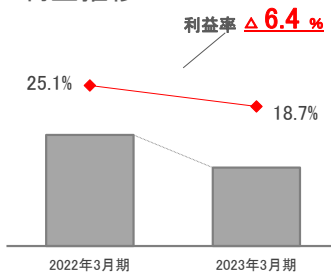
(単位 : 千円)

	2022年3月期	2023年3月期	増減額	前期比
売上高 計	253,893	240,442	△13,451	94.7%
利益	63,736	44,960	△18,776	70.5%
利益率	25.1%	18.7%	△6.4ポイント	—
会員数(ID)	3,316	3,022	△294	91.1%

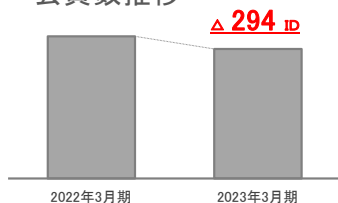
売上高推移



利益推移



会員数推移



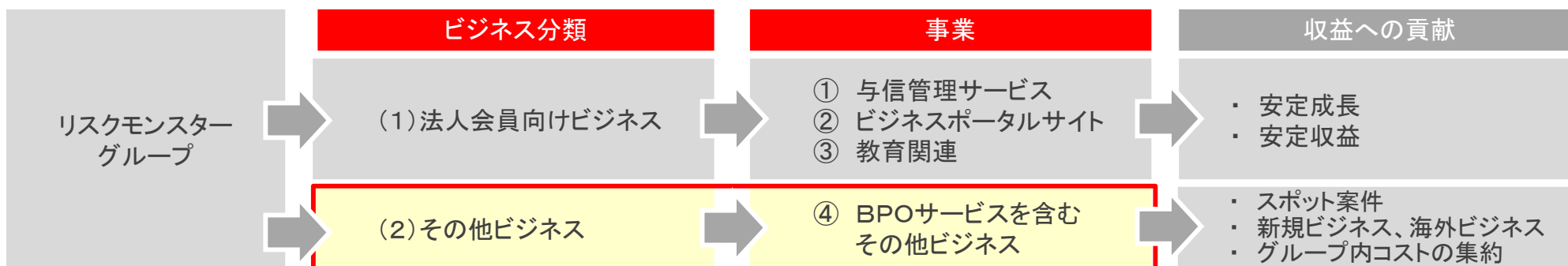
### ◆ 売上高

代理店のサービス提供終了による影響及び利用が少なかった会員数が減少したこと、2022年6月に発覚したサイバックスUniv. システム連携用サーバーの個人情報漏えいに係る対応のため、同年9月までの約3ヶ月間、新規の営業活動を抑制していたこと等から売上高は前期を下回りました。

### ◆ 利益

サービス充実のための提供コンテンツ増加により原価が増加したことや、サイバックスUniv. システム連携用サーバーの個人情報漏えいに係る対応コストが発生したため、前期を下回りました。

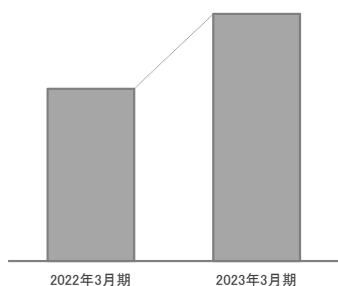
## リスクモンスターグループ ビジネスモデル



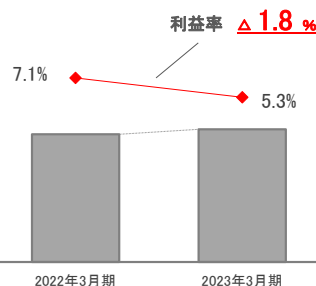
(単位：千円)

	2022年3月期	2023年3月期	増減額	前期比
その他ビジネス売上高計	866,880	1,199,285	332,405	138.3%
その他ビジネス利益計	61,730	64,114	2,383	103.9%
利益率	7.1%	5.3%	△1.8ポイント	—

売上高推移



利益推移



### ◆ 売上高

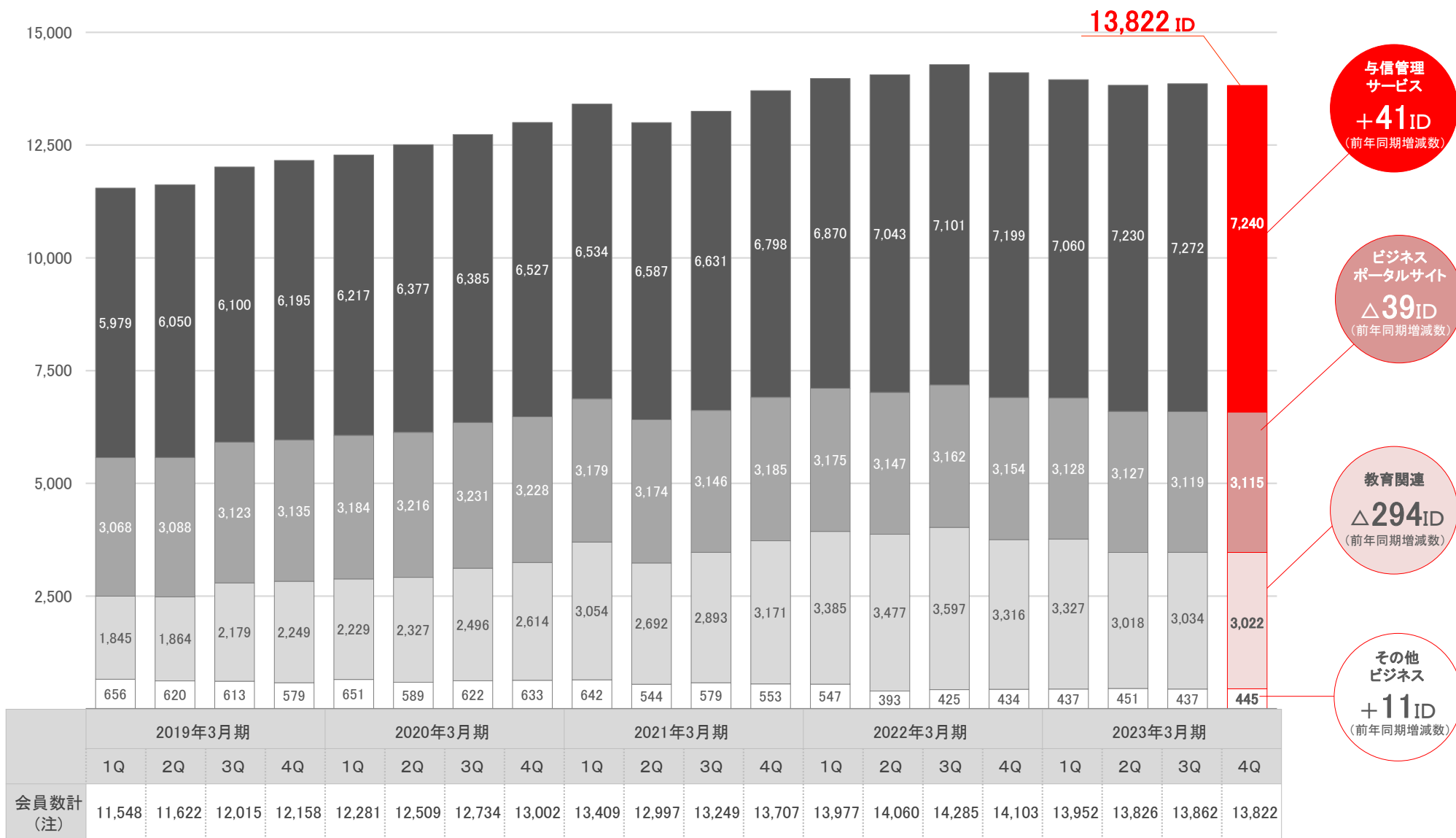
前第2四半期末に連結子会社となった株式会社シップスが年間を通して寄与し、また、与信管理サービス事業の独自データベース増強などグループのコスト削減に貢献するサービス提供が増加したことから、売上高は前期を大きく上回りました。

グループの海外展開(中国)を事業とする利墨(上海)商務信息咨询有限公司(リスクモンスターチャイナ)は、中国での与信管理サービスの利用の増加及びスポットのコンサルティングサービスを受注したこと、また、グループのコスト削減を担うオフショア開発が順調に推移し、円安の影響も受け、売上高は前期を大きく上回りました。

### ◆ 利益

BPOサービス事業は、サービス提供のための費用の増加などから前期を下回りましたが、リスクモンスターチャイナの事業が前期を上回り、その他ビジネス全体の利益は前期を上回りました。

(単位 : ID)



(注) 各サービスに重複登録している会員を含む

(単位：千円)

	2022年3月期	2023年3月期	増減額	前期比
流動資産	2,734,080	2,575,945	△158,135	94.2%
固定資産	4,205,973	4,101,158	△104,815	97.5%
資産合計	6,940,053	6,677,103	△262,950	96.2%
流動負債	579,424	527,343	△52,081	91.0%
固定負債	465,800	304,226	△161,574	65.3%
負債合計	1,045,225	831,569	△213,656	79.6%
純資産	5,894,827	5,845,533	△49,294	99.2%
負債・純資産合計	6,940,053	6,677,103	△262,950	96.2%
自己資本比率	84.1%	86.7%	—	—
1株当たり純資産(BPS)	774.16円	774.13円	△0.03円	100.0%

自己資本比率は86.7%と高水準を維持しております。

(単位 : 千円)

	2022年3月期	2023年3月期	増減額	前期比
営業活動	651,467	916,943	265,476	140.8%
投資活動	△793,436	△790,027	3,408	99.6%
財務活動	△248,794	△272,900	△24,106	109.7%
現金に係る換算差額	△739	△2,827	△2,087	—
現金増減額	△391,502	△148,811	242,690	38.0%
現金期末残高	2,052,227	1,903,415	△148,811	92.7%

## ◆ 営業活動

税金等調整前当期純利益	535,285
減価償却費	531,613
未払金の減少額	△100,352
法人税等の支払額	△161,649

## ◆ 投資活動

無形固定資産の取得による支出 △832,733

## ◆ 財務活動

自己株式の取得による支出	△99,965
配当金の支払額	△109,182

(単位 : 百万円)

	2023年3月期 実績	2024年3月期 予想	増減額	前期比
売上高	3,744	3,900	155	104.1%
営業利益	565	610	44	107.9%
経常利益	552	610	57	110.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	360	390	29	108.2%
1株当たり当期純利益(EPS)	47.60円	52.16円	4.56円	109.6%

当期は、与信管理サービスにおいて、株式会社東京商工リサーチとの業務提携解消を理由として前期に比べ退会数が増加したものの、新規の入会数は予定通り増加いたしました。

業務提携解消により、独自データベースの活用や新たなサービス開発において自由度が高まり、新たな挑戦ができる事業環境となったため、独自データベースを活用した成長戦略をさらに推進し、目標達成に向けグループ一丸となって取り組んで参ります。

※ この業績予想は、現時点で当社が入手可能な情報に基づいて作成したものであり、今後、市場環境の変化等により業績予想の修正を行う必要が生じた場合は、速やかに公表いたします。

## 事業別の見通し

### 与信管理サービス事業

- ・独自データベースを活用したサービスリニューアルと独自データベース拡充・増強への積極的な投資
- ・保証サービスなどの新規サービスの展開

### ビジネスポータルサイト事業

- ・既存顧客の利用料の増加のための施策の実行
- ・スマホアプリのWeb化等、会員の利便性と利用促進のための投資

### 教育関連事業

- ・定額制の研修サービス「サイバックスUniv.」のコンテンツ数アップと質の向上等

### BPOサービス事業

- ・独自データベースサービスの増強、メンテナンス等グループのコスト削減に貢献

## 株式会社東京商工リサーチとの業務提携解消による影響

- 株式会社東京商工リサーチが当社を被告として東京地方裁判所に訴訟を提起している件につきましては、当社は同社の請求に対して徹底的に争っており、当該請求は認められないと考えております。  
当社は、当社会員には当社独自データベースによるサービス・情報を提供しており、同社の情報は提供しておりません。  
したがって、現時点におきましては、当該訴訟結果は当社事業に重要な影響を及ぼすものではないと考えております。
- 当社に関する2022年11月21日付ファクタ出版株式会社発行のWEB記事「東商リサーチがリスモンに全データ消去要求」について、当該記事の内容は事実と反する内容が含まれておりますので、当社としてはファクタ出版株式会社に対する法的措置をとっております。

独自データベースを活用した新たな  
サービス開発、営業活動、業務提携

▶ 新しい挑戦へ

長期ビジョン「RismonG-30」(2021～2025年度)で掲げた独自データベースを活用した成長戦略を更に推進



## リスクモンスターグループ の評価 (東証スタンダード:3768)

【RM財務格付】  
2023年3月期



【RM財務格付定義】

- a格 財務内容は非常に良好です。
- b格 財務内容は良好です。
- c格 財務内容は概ね良好です。
- d格 財務内容に若干の懸念があります。
- e格 財務内容に懸念があります。
- f格 財務内容に大きな懸念があります。

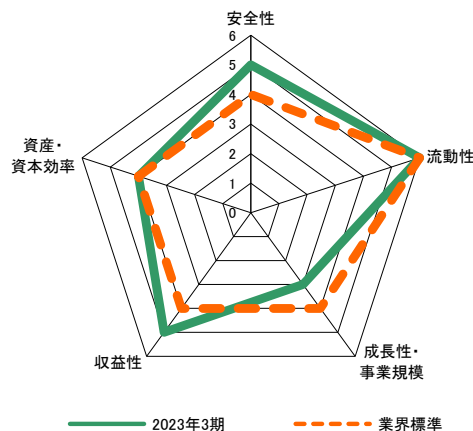
【想定倒産確率】

- a格 … 0.1%
- b格 … 0.5%
- c格 … 1.0%
- d格 … 2.0%
- e格 … 3.0%
- f格 … 6.0%

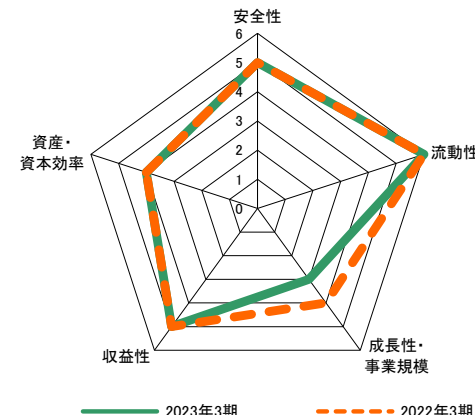
### 【RM財務格付履歴】

2023年3月期	2022年3月期	2021年3月期	2020年3月期
a	a	a	a
2019年3月期	2018年3月期	2017年3月期	2016年3月期
a	a	a	a
2015年3月期	2014年3月期	2013年3月期	2012年3月期
a	a	a	a

レーダーチャート(業界標準比較)



レーダーチャート(過去データ比較)



安全性	2023年3月期	☆☆☆☆☆
	2022年3月期	☆☆☆☆☆
自己資本比率	☆☆☆☆☆	
実質自己資本比率	☆☆☆☆☆	
借入金利率	☆☆☆☆	
借入返済年数	☆☆☆☆☆	

収益性	2023年3月期	☆☆☆☆☆
	2022年3月期	☆☆☆☆☆
売上高経常利益率	☆☆☆☆☆	
経常収支比率	☆☆☆☆☆	
ROA(総資産利益率)	☆☆☆☆	

資産・資本効率	2023年3月期	☆☆☆☆
	2022年3月期	☆☆☆☆
売掛債権回転期間	☆☆☆☆☆	
棚卸資産回転期間	☆☆☆☆☆	
総資産回転率	☆☆	

流動性	2023年3月期	☆☆☆☆☆☆
	2022年3月期	☆☆☆☆☆☆
流動比率	☆☆☆☆☆☆	
当座比率	☆☆☆☆☆☆	
現預金回転期間	☆☆☆☆☆☆	
手形割引率		

成長性・事業規模	2023年3月期	☆☆☆
	2022年3月期	☆☆☆☆☆
売上高増減率	☆☆☆	
売上高規模	☆☆☆☆	
経常利益増減率	☆	

※実質自己資本比率とは、資産のうち不良性の恐れのある金額を自己資本から控除した上で算出した自己資本比率です。

※☆☆☆☆☆☆(良い)~☆(悪い)にて表示しています。  
★が表示されない項目は、評価対象外です。  
評価対象外となることで、コメントが表示されない場合があります。

総合評価	財政面及び収支面は良好で、高い支払能力を有しているため、不安はありません。
安全性	資本蓄積は十分な水準にあり、借入償還能力も高い状態であるため、安定性の高い資金繰りが見込まれます。
流動性	十分な当座資産を有しており、高い決済能力を有しています。
収益性	利益効率が良好であり、事業による現金創出力を有しているため、高い収益力を有しているといえます。
成長性・事業規模	収益力は十分ではないものの、一定水準の売上規模を有しており、相応の収益基盤を維持しています。
資産・資本効率	資産効率がやや低水準にあるものの、資産内容は概ね健全であるため、大きな不安はありません。

当社グループの2023年3月期連結決算におけるRM財務格付は、a～fの6段階中、最高位の「a」となった。その分析内容に関する所見は、以下のとおりである。

## 【貸借対照表】

グループ連結の財政状態については、親会社株主に帰属する当期純利益360百万円によって利益剰余金が251百万円増加した一方で、その他有価証券評価差額金が259百万円減少したことを主因に、純資産額は2022年3月期に比べ約49百万円の減少となったが、自己資本比率としては、前期84.1%から86.7%に2.6ポイント上昇し、引き続き高い水準を維持している。

借入金に関しては、2022年3月期から約60百万円の減少となり、事業収益を償還原資とみた場合の借入返済年数も1年以内に収まっているなど、依然として非常に高い安全性を保っている。

流動性に関しては、流動比率488.5%（前年度比16.6ポイント上昇）および当座比率468.1（前年度比12.2ポイント上昇）と高い水準にあることに加え、現預金残高2,004百万円は月商の6.4か月分に相当する点を考慮すれば、十分な資金繰り余力を有しているといえる。

総じて、高い支払能力を有しており、特段の懸念もない財政状態と史料される。

## 【損益計算書】

連結売上高においては、主要ビジネスである法人会員向けビジネスにおいて、与信管理サービス事業（前年度比91.8%）、教育関連事業（前年度比94.7%）の減収を主因に、前年度比93.8%と売上を押し下げたものの、BPOサービス事業（前年度比139.8%）やその他サービス（前年度比134.5%）が好調であったことで、グループ全体では前年度比100.0%と前期並の水準となった。本業の事業基盤に加え、周辺事業の成長によって、グループ全体としては安定的な推移を保っているといえる。

利益面については、与信管理サービス事業において、サービスリニューアルに伴う割引提供キャンペーンを実施したこと等により、粗利率が前年度53.6%から52.7%に0.9ポイント低下したほか、販売費及び一般管理費における約69百万円の増加によって、売上高営業利益率15.1%（前年度比2.8ポイント低下）、売上高経常利益率14.8%（3.7ポイント低下）、売上高当期純利益率9.6%（2.7ポイント低下）と、各利益段階での利益率低下が見受けられるものの、収益効率は依然として非常に高い水準にあるといえる。当社グループ売上の71.2%が法人会員向けビジネスであり、業績の下振れリスクが低いこと考慮すれば、今後も引き続き利益確保に懸念は少ないものと考えられる。

## リスクモンスター企業理念



顧客を大切にして共に繁栄しよう  
プロフェッショナリズムを繁栄の源泉にしよう

2021年度～2025年度 長期ビジョン

### RismonG-30

キーメッセージ

## 新しいスタンダードを提供する

社会に有用な付加価値のある信頼されるサービスを提供

信用を判断するだけでなく信用を生み出す

公正で安心できる仕組み作りの役割を担う

「第7次 中期経営計画(2021年～2023年度)」策定

積極的に付加価値を高める投資を行う。ROE 7%以上 を持続させる。

## ① 事業規模

既存事業の安定的な成長に加えて国内外の事業投資を拡大し、安定的な事業規模を目指す。

## ② 新規事業投資 業務提携

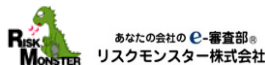
シナジー効果があり、プロフェッショナルなノウハウと顧客基盤を持つ企業を対象とし、長期的なビジネスパートナーとしての関係構築を目的に、アップセル・クロスセルにつながる投資、付加価値を高める投資を、積極的に実行する。

## ③ 株主還元

配当性向30%を目標とし、継続的かつ安定的な配当を目指す。

※ただし、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化、または想定以上に深刻化した場合に備え、継続的かつ安定的な配当の実施を優先したうえで、不測の事態に備えるため、十分な手許現金の確保や内部留保も検討してまいります。

## 与信管理サービス事業



- 独自データベースを活用したサービスの強化
- 独自データベースを活用したDX化支援サービス
- サブスク化等積極的な価格戦略
- 更なるAIの活用
- スマホアプリの強化

## BPOサービス事業



- VERIFY機能を向上
- 反社チェックサービス強化
- AIを活用したサービスの強化
- 新たな海外センター構築
- グループサービスとの連携強化

## 教育関連事業



- コンテンツ数アップと質の向上
- フリーランスの講師の活用と質の向上
- 受講生からのフィードバックを積極的に反映

## 海外事業(中国(上海))



- 中国独自サービスの継続的開発
- グループ連携強化
- オフショア開発の品質向上

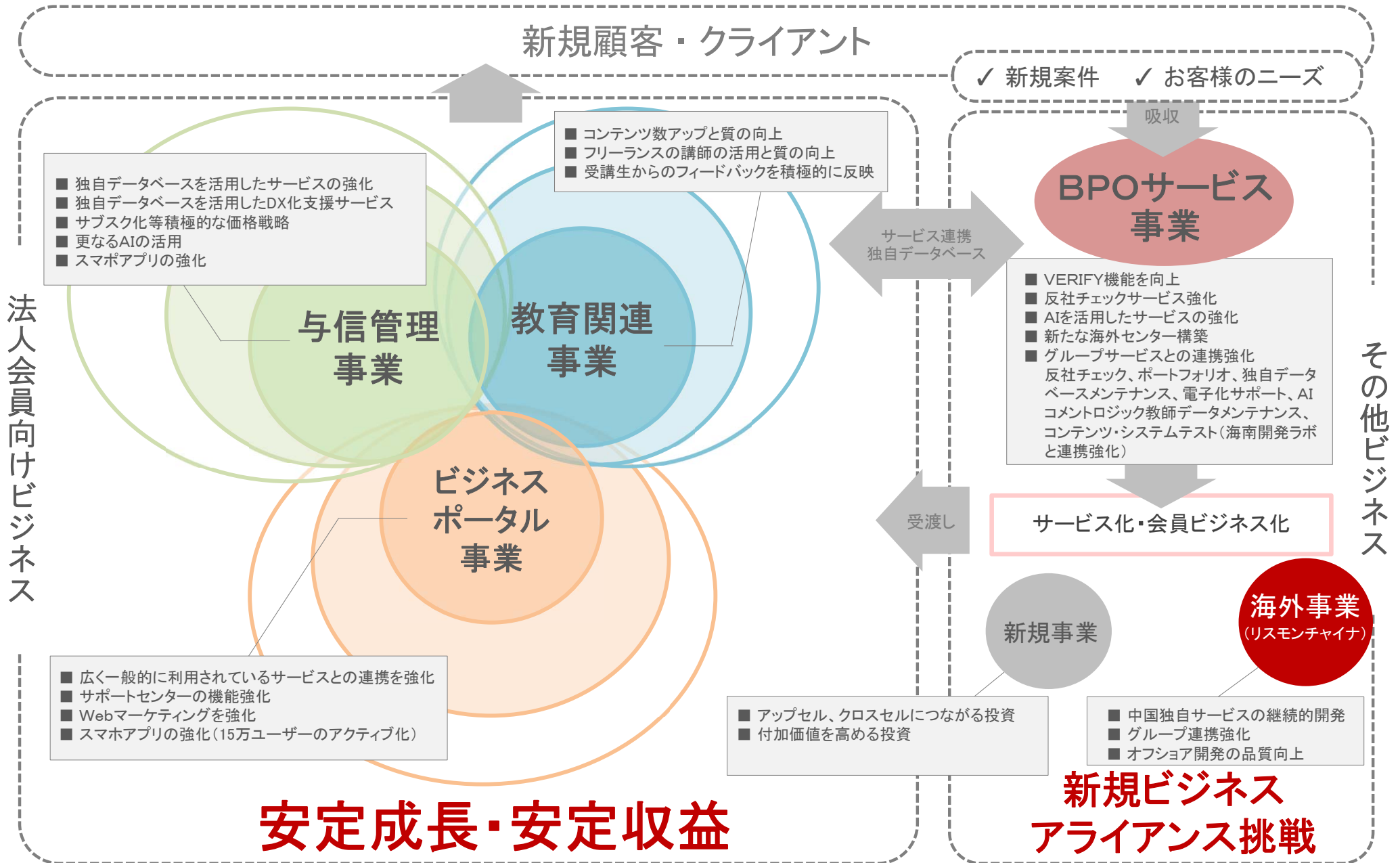
## ビジネスポータルサイト事業



- 広く一般的に利用されているサービスとの連携を強化
- サポートセンターの機能強化
- Webマーケティングを強化
- スマホアプリの強化(15万ユーザーのアクティブ化)

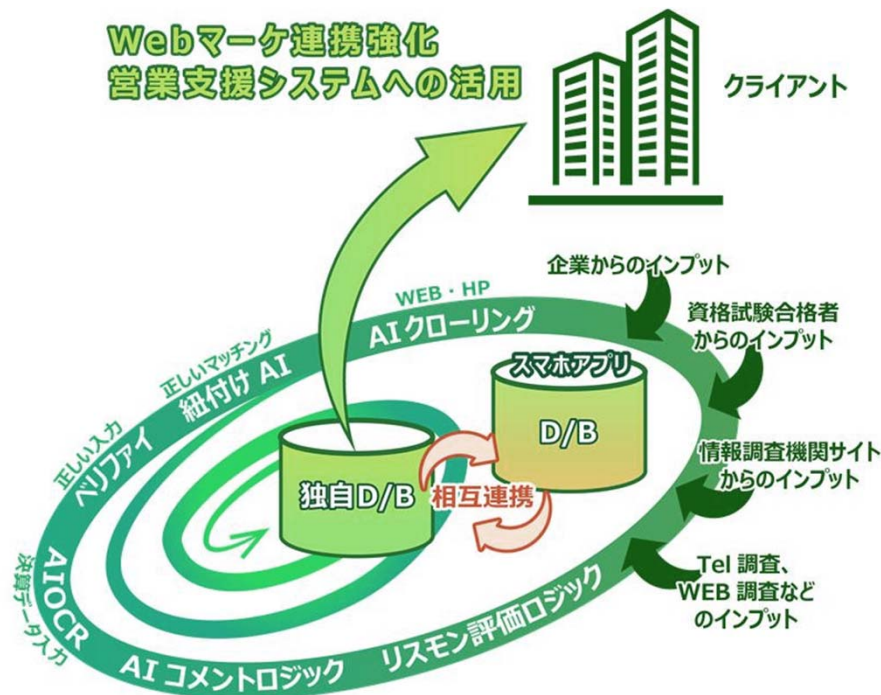
## 新規事業

- アップセル、クロスセルにつながる投資
- 付加価値を高める投資



当社は、事業を取り巻く厳しい環境を踏まえ、「新しいスタンダードを提供する」をキーワードに、長期ビジョン『RismonG-30』を制定し、この目標を実現するために、「DX(デジタルトランスフォーメーション)への取組」を発信し、以下の取り組みを進めております。

- AI等を活用し、自社保有データの分析推進によるサービス開発と業務効率化
- クライアントへのDX化支援サービスの展開
- デジタルプラットフォーム活用による業務効率化とテレワーク推進



2022年3月に経済産業省が定める「DX認定事業者」の認定を取得

具体的なクライアントへのDX化支援サービスとして、以下のサービスをリリースしました。

- ▶ リスモンAPIサービス「反社APIサービス」(6月)
- ▶ リスモンAPIサービス、SaaS連携業務自動化プラットフォーム「ActRecipe」と連携開始(10月)

## 自己株式の取得

当社は、機動的な資本政策を実施することで資本効率の向上を図り、株主の皆様への利益還元を実現するため、自己株式の取得を実施いたしました。

### 1. 2022年12月7日開催の当社取締役会における決議内容

(1) 取得対象株式の種類	当社普通株式
(2) 取得し得る株式の総数	160,000株(上限) (発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合2.10%)
(3) 株式の取得価額の総額	100,000,000円(上限)
(4) 取得期間	2022年12月8日～2023年1月24日

### 2. 上記取締役会決議に基づき取得した自己株式の累計

(1) 取得した株式の総数	147,100株(上限数に対する進捗率 91.94%)
(2) 取得価額の総額	99,965,100円(上限額に対する進捗率 99.97%)



2022年7月5日および2022年9月16日に当社ホームページにて公表いたしました、サイバックスUniv. システムにおける個人情報漏えいに関しまして、お客様および関係者の皆様に多大なるご迷惑とご心配をおかけいたしましたこと、心よりお詫び申し上げます。本件を重く受け止め、2022年9月までに必要な対策を講じ終結しております。

より一層の体制強化と、再発防止に向けた取り組みに努めてまいります。

## セキュリティ対策の概要

- ・サーバー設定変更時の確認を複数人でレビューするように社内手順を明確にし、運用しております。
- ・セキュリティマネジメントシステムの運用単位を、サブシステム(サーバー)単位で細分化し社内の各種台帳を見直し、運用しております。
- ・インターネット接続の可能性がある全てのサーバーに対して外部によるセキュリティ診断を実施いたしました。引き続き、クラウド設定診断や誤設定検知対応を実施してまいります。

## クラウドサービスセキュリティ国際規格「ISO/IEC27017:2015」認証取得

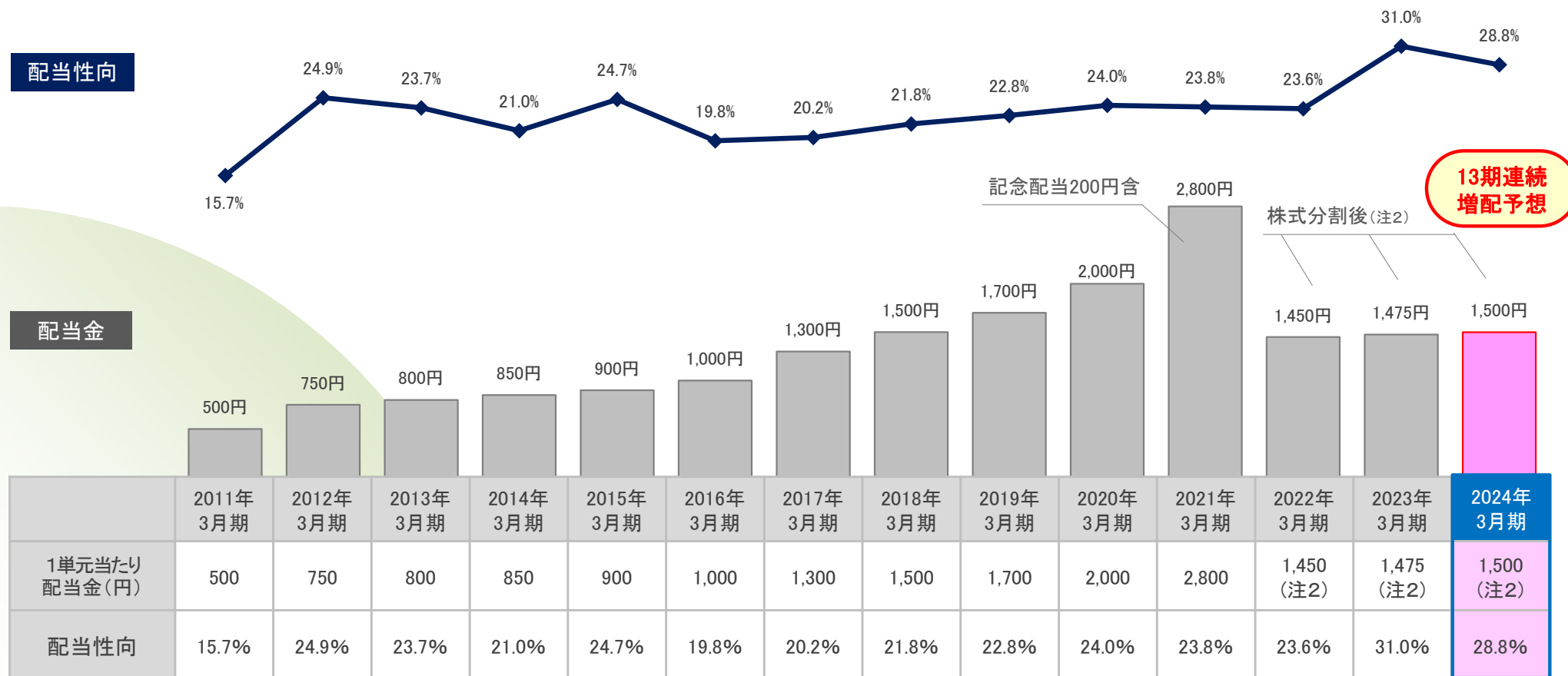
当社は、インターネット経由でサービスを提供する性質から、情報セキュリティ上の安全性維持を重要課題として捉え、外部認証機関に認められたマネジメントシステムを積極的に取得し、サービス品質の向上に取り組んでおります。

これまでに、個人情報保護マネジメントシステムに準拠した体制を構築している事業者が付与される「プライバシーマーク」の認証取得、ITサービスマネジメントシステム「ISO20000」、情報セキュリティマネジメントシステム「ISO27001」、品質マネジメントシステム「ISO9001」の認証を取得し、2022年9月、新たにクラウドセキュリティに関する国際規格「ISO27017」の認証を取得いたしました。

更なる体制の強化と、サービス品質の向上を目指します。

## 株主還元

- ◆ 当連結会計年度は、1単元当たり1,475円(1株当たり14.75円)とし、12期連続の増配となる予定です。また、2024年3月期においても、1単元当たり1,500円(1株当たり15円)の増配予想です。
- ◆ 当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つとして位置付け、2021年4月にスタートした長期ビジョン「RismonG-30」及び「第7次中期経営計画(2021～2023年度)」に沿い、積極的な投資を推進しながらも配当性向30%を目標とし、継続的かつ安定的な配当の実施を目指してまいります。



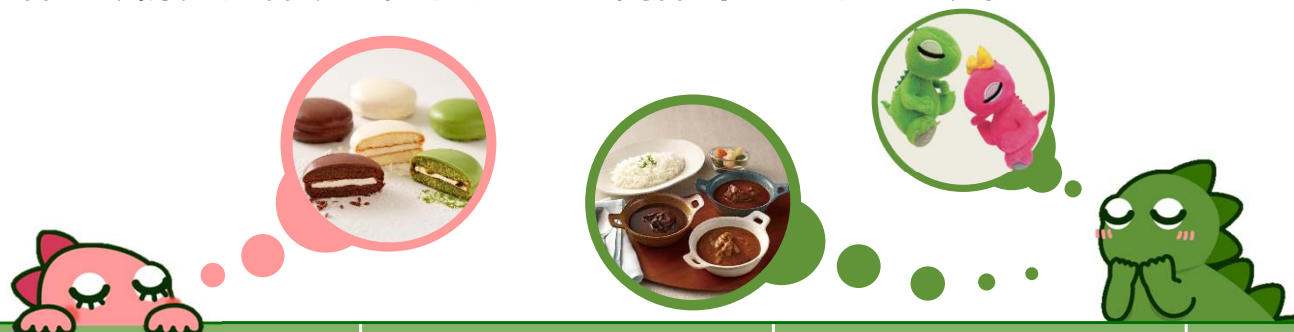
(注1) 1単元 = 100株

(注2) 当社は、2021年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

## 株主優待制度

当社は、毎年9月30日現在の当社株主名簿に記載または記録された株主様のうち、当社株式を6ヶ月以上保有されており、かつ、300株(3单元)以上の当社株式を保有する株主様を対象とした株主優待制度を設けております。

また、当社株式を1年以上保有されており、かつ、600株(6单元)以上の当社株式を保有する株主様におかれましては、お好きな商品または寄付を1点お選びいただく株主優待となっております。優待商品につきましては、日本各地の名産品や、防災用品、当社オリジナル商品等がございます。



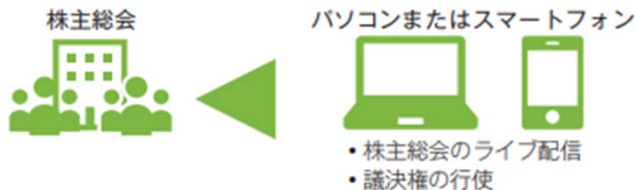
所有 株式数	保有期間			
	6ヶ月以上1年未満	1年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上
300株以上	当社指定商品	当社指定商品		
600株以上		1,500円相当	2,000円相当	2,000円相当
1,000株以上		2,000円相当	3,000円相当	4,000円相当
2,000株以上		3,000円相当	4,000円相当	5,000円相当

## 第23回 定時株主総会

2023年6月27日に第23回定時株主総会を開催いたします。  
新型コロナウイルス感染防止のため、株主総会当日の流行状況やご自身の体調をご確認の上、ご来場のご検討をいただきますようお願いいたします。

### Webで議決権行使の行使、ライブ配信をご視聴いただけます

ライブ配信の視聴は株主様限定となります。また、本総会のライブ配信は視聴のみとなっており、出席とは取り扱われませんので、事前に議決権行使及び事前質問の登録をお願いいたします。



### 事前質問を受付いたします

株主様より本株主総会の目的事項に関するご質問を事前に受付いたします。株主様のご関心が高いと思われる事項につきましては、株主総会当日にご回答させていただく予定としております。なお、ご回答をお約束するものではありません

- ※ ご来場を希望される場合には事前参加申込が必要となります。
- ※ ご来場の株主様へのお土産のご用意はございません。
- ※ 詳細は株主総会招集ご通知をご覧ください。

## リスモンちゃんねる 配信

「リスモンちゃんねるIR」では当社のIR動画をインターネットで公開しております。

また、YouTube「リスモンちゃんねる」では、一般の方には馴染みの薄い「与信管理」や「リスクモンスター」の活動について、広く普及することを目的に、企業や仕事にまつわるテーマの動画を配信しております。

当社独自のアンケート調査をアナリスト本人が解説する「リスモン調べ」やインボイス制度や投資などの疑問を解決する「学校や会社では教えてくれないお金の話」、仕事での取引トラブルをドラマ仕立てで解説する「THE解決！取引トラブル」などエンターテインメント性の高い動画が特長です。



IR動画



＜リスモンちゃんねる 2022冬＞



PR動画  
(リスモン調べ等)



第59回 リスモン調べ「ビジネススキルアップに関する意識調査」  
～リスキングに対する意欲は？～



THE 解決！取引トラブル 第11回「まさか、ウチが責任を負うことになるなんて！」

## お問い合わせ先

### IRに関するお問い合わせ

(IR専用ダイヤル)

TEL : 03-6214-0352

FAX : 03-6214-0431

Mail : ir@riskmonster.co.jp

※ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

※ 実際の業績は、経済環境の変化や提供するサービスの動向等の様々な要因により将来の見通し等と異なる場合があります。



### 【会社名】

リスクモンスター株式会社

<https://www.riskmonster.co.jp>

<https://www.cybaxuniv.jp>

### 【所在地】

東京都中央区日本橋2-16-5

RMGビル

### 【連結子会社】

リスモン・ビジネス・ポータル株式会社

<https://www.j-motto.co.jp>

リスモン・マッスル・データ株式会社

日本アウトソース株式会社

<https://www.outsource.co.jp>

株式会社シップス

<https://www.ships-it.co.jp>

利墨(上海)商務信息咨询有限公司

<https://www.rismon.com.cn>

# TOPICS



## ■ 限度額内の最大100%を保証、保証額最大1,000万円引き上げへ

2023年5月8日、与信管理ASPクラウドサービスを提供するリスクモンスター株式会社は、売掛債権保証サービス「Secured Monster」において、Gardia株式会社と提携し、債権保証の範囲を拡大いたしました。

これまでの一般的な債権保証サービスでは、審査結果によっては取引先への保証は、引き受けを拒否されるか、複数保証先をまとめる必要がありました。今回、新たに提供開始する「Secured Monster Type Gardia」は、RM格付(A格～G格)が付与された企業について、格付ごとに決められた保証限度額内の最大100%を保証いたします。本サービスでは、RM格付に応じて1社から保証することが可能になります。

信用リスクに不安を感じられる会社との取引での貸し倒れや焦付きリスクを軽減し、スピーディーな取引を支援することで、与信管理と攻めの取引をサポートしてまいります。

## ■ Secured Monster Type Gardiaの概要

**PROBLEMS**

債権保証や保全策に関わる困りごと

低評価の会社で保証がかけられない

□ □ □

保険会社・保証会社から引き受け拒否や複数の保証先をまとめるよう言われてしまった

保険会社・保証会社とのやり取りが大変

緊急の案件ですぐに保証を開始したいが、手続きが多く時間がかかる

1社単位、短期間だけ保証をかけたい

スポット取引や繁忙期だけ保証をかけたおきたいが、1年契約で無駄なコストが発生してしまっている

**SOLUTIONS**

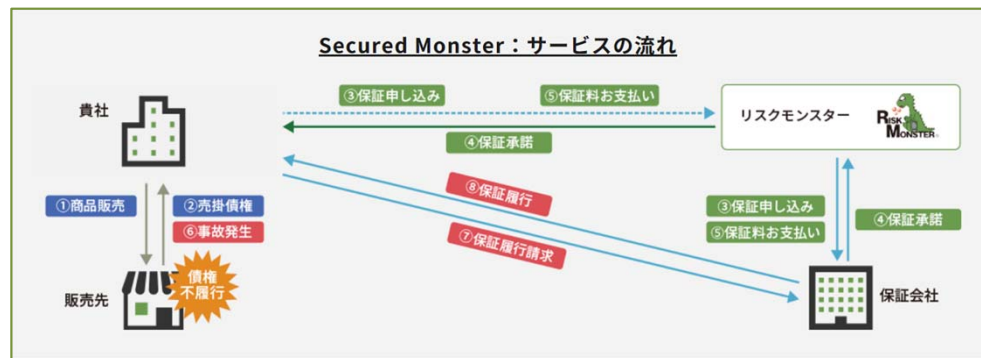
その困りごと、リスクモンスターが解決します！

リスクモンスターが提供する債権保証サービスの「Secured Monster」は、信用リスクに不安を感じられる取引先も、1社単位・短期間から、RM格付ごとの保証限度額内で最大100%を保証します。

「Secured Monster」は1社1ヶ月から保証可能な売掛債権保証サービスで、RM格付ごとに保証限度額を設定し、限度額範囲内のご希望額を1社から保証します。本サービスでは、保証限度額の範囲内であれば、原則1社からご希望額の引受が可能となり、従来の保証額に比べ、最大1,000万円引き上げになります。

詳細はサービスページをご覧ください。

サービスページ：<https://www.riskmonster.co.jp/lp06/>



※複数の会員様から同一企業への申込があった場合は、保証限度額範囲内であってもご希望額の引受ができない場合があります。

※既に支払い遅延が発生している先は対象外となります。

## ■ 取引先のコンプライアンスチェック効率化を支援

2022年6月8日、与信管理ASPクラウドサービスを提供するリスクモンスター株式会社は、リスモンAPIサービス「反社APIサービス」の提供を開始いたしました。

本サービスは、煩雑になりがちなコンプライアンスチェックの一元化を実現することができ、会員様の業務効率化やDX推進に貢献いたします。本サービスは、2021年5月23日より提供中の「反社チェックヒートマップ(正式版)」の一部を、リスモンAPIサービス上でご提供するものです。

当社から提供するAPI仕様書とIDを基に、会員企業様において連携システムを構築することで、リアルタイムに反社警戒情報などのコンプライアンスリスク件数を検索、取得し、自社システムに取り込むことができます。

また、「与信管理APIサービス」を合わせてご利用いただくことで、取引先の企業基礎情報も自社システムに取り込むことができます。コンプライアンスチェックと同時に、与信判断に必要な基礎情報も即時に確認することが可能となり、対象企業との取引可否判定を効率的に実施することができます。

## ■ 取得できるコンプライアンスリスク情報

3つの情報区分(反社警戒、事件事故、行政処分)と2つの法人・個人区分(商号、代表者)の3×2の合計6マスのそれぞれのヒット件数をご提供いたします。

反社APIサービス該当件数	商号	代表者
1. 反社警戒	0件	3件
2. 事件事故	0件	1件
3. 行政処分	5件	0件

## ■ 本サービスを利用したサービス事例



本サービスを利用した無料スマホアプリ「リスモンかんたんコンプラナビ」を2022年2月に提供開始しました。

商談前の企業概要の把握、及び、反社チェックの1次スクリーニングツールとしてご利用いただけます。



リスモンかんたんコンプラナビ  
詳細



当社では、インボイス制度に対応したサービス、取り組みを行っております。

## 「適格請求書発行業者」登録状況確認サービス

取引先のリスト整備から登録状況確認まで、全て代行します。



## リスモンちゃんねる

リスモン presents 学校や会社では教えてくれないお金の話  
第6回「インボイス制度のこれだけは知っておきたい」



この番組は、誰もが普段感じているお金に関する疑問を解決する番組です。

今回のテーマは「インボイス制度のこれだけは知っておきたい」。

教えていただくのは、図解コラムニストとしてヤフーニュースなどで経済記事をわかりやすく執筆している増澤陸さんです。

## ■ J-MOTTOグループウェアのスケジュールからTeamsのカレンダーへ連携可能

2022年9月28日、グループウェアサービス「J-MOTTO(ジェイモット)」を展開するリスモン・ビジネス・ポータル株式会社は、J-MOTTOグループウェアのスケジュールをMicrosoft社提供の「Microsoft Teams」(以下「Teams」)のカレンダーへ連携する機能の提供を開始いたしました。

この連携機能を利用することにより、J-MOTTOのスケジュールに入れた会議や打ち合わせの予定を、自動でTeamsのカレンダーに反映させることができます。

これまでJ-MOTTOとTeamsのそれぞれに予定を入れる必要があったものを、J-MOTTOのスケジュールに入れるだけで良くなり、日々の予定登録の手間が大幅に削減されます。既にTeamsをご利用中のお客様でグループウェアをお探しの方や、J-MOTTOとTeamsのいずれもご利用中の方は、この機会にぜひご利用ください。

※Teamsの予定をJ-MOTTOのスケジュールに連携することはできません。

## Teamsとのカレンダー連携機能の特長

- Teamsに連携したいスケジュールを選んで連携が可能。
- 登録先に複数人入れた予定は、Teamsの各利用者のカレンダーにも自動反映。
- J-MOTTOで登録した予定の色も保持。  
Teams上でも予定が一目で分かる。

## J-MOTTOと連携しているサービス

Teams以外にも、J-MOTTOグループウェアでは様々な他社製品との連携をご用意しております。

- HENNGE One  
HENNGE Oneとのシングルサインオン、ログイン時の認証追加が可能
- Microsoft365  
ユーザー情報一元化のほか、Outlookとのスケジュール連携が可能
- Google Workspace  
Google Workspaceとのシングルサインオンが可能
- Googleカレンダー  
J-MOTTOグループウェアのスケジュールとの同期が可能(一部有料)
- 外部API公開  
スケジュール機能のAPIを公開。他社サービスと連携可能



## おかげさまで10周年



2022年9月、当社グループの海外展開(中国)を事業とする利墨(上海) 商務信息咨询有限公司(リスクモンスターチャイナ)は、設立10周年を迎えました。

日頃より当社グループサービスをご利用頂いている会員様、またお取引先様に心より御礼申し上げます。

これからも皆様には変わらぬご愛顧を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

### ■ 10周年記念セミナー開催

2022年10月26日、設立10周年を記念し、記念セミナーを開催いたしました。当日は、たくさんのお客様、取引先様にご参加いただきました。

中国全体の経済状況から、与信管理、債権回収や法律、不動産鑑定、保険会社から見るリスク状況など、各業界の専門家にご登壇いただき、中国のリスク管理をする上で知っておきたい情報をお伝えし、多くのご参加者様に満足していただける内容となりました。



お客様、お取引先からの  
お祝いコメント



セミナーの様子  
会場開催だけでなくWEB配信も行いました。



Rismon China

**利墨(上海)** 商務信息咨询有限公司



## 取引先リスク管理Q&A(第2版)

2022年5月20日、リスクモンスター株式会社は、与信管理関連書籍「取引先リスク管理Q&A(第2版)」を出版いたしました。

「取引先リスク管理Q&A」は、リスモンが7,000超の法人会員様から日々頂いた「与信管理実務に関するご相談」を収集し、お問い合わせの頻度が高い順に掲載した与信管理の実務担当者のための手引書です。本書では、与信管理の手順や概念に沿って述べるのではなく、現場で必要とされる知識やノウハウから優先的に掲載しています。今回の改訂は、新たに「与信管理の仕組みを作ろう!」の章を追加したほか、昨今対策が求められている反社会的勢力との取引管理や電子契約、DX推進、AI化などの内容を盛り込みました。2020年4月に施行された民法改正にも対応し、与信管理の現場で問題や疑問が発生した際に、お役立ていただける内容となっています。



## 業種別審査ノートVol. 1(第3編)、Vol. 2(第3編)

2022年5月23日、リスクモンスター株式会社は、「業種別審査ノートvol. 1(第3編)」を出版いたしました。本書は、2018年に初版を発行した「業種別審査ノートVol.1」の第3編として発行するリスモンオリジナル書籍です。

会員様が与信管理の対象とされている業種の中から、社数が多い17業種に対して、与信審査のポイントとデータ分析の結果(業界レポート、業界天気図、業界別格付分析を組み合わせた形式)を掲載しております。

また、2023年1月27日、vol. 1に続いてvol. 2の出版もしております。



当社は、企業理念「プロフェッショナリズムを繁栄の源泉にしよう」に基づき、社内だけでなく業界全体の英知に貢献するために定期的に書籍を執筆し、発刊しています。

与信管理の入門編から現場のプロが使える実用的なものまで取り揃えています。  
ご自身の興味関心に合わせてぜひお手に取ってみてください。

## 業種別審査ノート 中国・2022年版

2023年2月20日、利墨(上海)商務信息咨询有限公司(リスクモンスターチャイナ)は、「業種別審査ノート 中国・2022年版」を出版いたしました。

本書は、パートナーである上海華予信企業信用征信有限公司の調査協力のもと、リスクモンスター株式会社とリスクモンスターチャイナの合作で発行したものです。

中国における主要15業種を選定して、中国経済における各業界の与信審査ポイントとデータ分析の結果を掲載しております。



## ■ 与信チェックや新規取引申請業務のDX化を支援

2022年10月25日、与信管理ASPクラウドサービスを提供するリスクモンスター株式会社は、アクトレシピ株式会社が提供する、SaaS連携業務自動化プラットフォーム「ActRecipe」とのAPI連携に対応し、与信チェックの自動化サービスの提供を開始いたしました。

「ActRecipe」は、国内外の各種SaaSやFinTechの連携によって主にバックオフィス業務の自動化・効率化や内部統制・IT統制強化を推進するSaaS連携業務自動化プラットフォームです。

リスモン与信管理APIと「ActRecipe」との連携により、SFAやCRM(注)にRM格付や企業情報を反映し、社内の取引先申請業務を自動化することが可能となり、取引先管理業務の更なる効率化、自動化に貢献いたします。

(注) SFA : Sales Force Automationの略  
CRM : Customer Relationship Managementの略

## ■ 自動化イメージ

法人番号をキーにリスクモンスターのRM格付・企業情報を取得



ワークフローSaaS等の連携により取引先申請を自動化

## リスモン与信管理APIサービスとは

リスクモンスターが保有する約500万社の独自企業データベースをもとに、システム連携の実現や、クラウド上でのデータ共有・ワークフロー化など与信管理体制構築及び与信管理業務のDX化を支援するサービスです。

### ◆ 取得可能な項目

- ・RM格付 : 倒産実績に裏付けられたA~Fの6段階の最新格付
- ・企業情報 : 「法人番号」、「商号」、「郵便番号」、「所在地」、「電話番号」、「代表者名」などの企業基礎情報

## ■ 譲渡登記の変化をアラーム通知

2023年1月22日、与信管理ASPクラウドサービスを提供するリスクモンスター株式会社は、「e-管理ファイル モニタリング(アラーム通知)機能」において、譲渡登記の変化を通知する「登記情報アラーム」の提供を開始いたしました。

「e-管理ファイル モニタリング(アラーム通知)機能」は、取引先の信用動向を当社がウォッチし、信用格付「RM格付」や企業情報などの変化を、メールでお知らせするサービスです。

今回、提供を開始した「登記情報アラーム」は、金融機関、上場会社からの需要の高まりを受け、「債権譲渡登記」及び「動産譲渡登記」情報を当社が独自に収集し、会員企業のモニタリング登録先に対し、その変化を通知するものです。

当社の独自調査において、譲渡登記と倒産確率に相関がみられており、「登記情報アラーム」を利用することで、信用力変化の予兆となる警戒情報を入手でき、取引先への迅速な対応が可能となります。

## ■ イメージ

(1) 譲渡登記情報の変化をメールにて通知いたします。

件名：「リスクモンスター/メールサービス」<登記情報>

あなたの会社の「e-審査部 リスクモンスター」  
【e-管理ファイル/メールサービス】

会員様がe-管理ファイルに登録した企業の中に、  
「登記情報」に変化が生じた企業がありますのでご連絡申し上げます。

e-管理ファイル/アラーム通知リスト/登記情報  
<<https://www.riskmonster.com/> ~ >  
にアクセスして内容をお確かめ下さい。

(2) メール文中のリンククリックにより、該当企業の譲渡登記の  
新着情報を確認できます。

アラーム通知リスト			
格付・企業情報	組織情報	裁判情報	登記情報
通知日	種類	RMコード	商号
2022/12/18	債権譲渡	9500001012398	株式会社テストA
2022/12/18	動産譲渡	9500001014345	株式会社テストB
2022/12/18	質権設定	9500001014347	株式会社テストC

## ■ 検索回数25万件突破！コンプライアンスチェックの新基準

2023年1月22日、与信管理ASPクラウドサービスを提供するリスクモンスター株式会社は、「反社チェックヒートマップ」の単独提供を開始いたしました。

本サービスは、コンプライアンスチェックの一環として、取引先(与信先)の商号・代表者等をリスクモンが独自に収集したコンプライアンス関連情報から自動検索し、反社会的勢力関連情報のほか、取引先のコンプライアンスリスクの所在をヒートマップ形式で表示するサービスです。

企業において、反社会的勢力との関係根絶及び取引リスクへの対応が重要課題となり、コンプライアンス意識が高まっている中、本サービスがコンプライアンスリスクのチェックに有効とご好評をいただき利用件数が急拡大しております。

これまで、企業の信用力・取引推奨額を提示する与信管理サービス「e-与信ナビ」取得時のオプションサービスとして提供していましたが、この度「反社チェックヒートマップ」を単独でも取得いただけるよう提供を開始いたしました。

## ■ 特長 リスクの所在を色で明確化

リスクモンスターが保有する約500万社の独自企業データベースより対象情報をピックアップし、4つの情報区分と4つの法人・個人区分に分けた4×4の16マスでリスクが高まるにつれて濃い色で表示されます。

ヒートマップ上で色が付いたマスをクリックすると当該マスの情報が表示され、詳細情報を確認することができます。

該当企業の訴訟情報に変化があった場合に、メールでお知らせするアラームメール送信サービスもございます。



## ■ J-MOTTOグループウェアでテレワーク状況を可視化

2023年3月12日及び2023年3月26日、グループウェアサービス「J-MOTTO(ジェイモット)」を展開するリスモン・ビジネス・ポータル株式会社は、J-MOTTOグループウェアにおいて、テレワーク状況を可視化する「プレゼンス機能」の提供を開始いたしました。

この機能を利用することにより、テレワークや在宅勤務など、柔軟な働き方を実践されている企業において、全社・組織のテレワーク状況を可視化して様々な経営判断に活用できるようにするとともに、社員間のコミュニケーション効率もさらに向上します。

## ■ イメージ

### ■ 組織ごとのテレワーク状況と社員の「今」を可視化



### ■ チームの活動状況把握とコミュニケーションがスムーズに行える



### ■ 柔軟なカスタマイズに対応

